

視聴覚教育

NO. 505

発行日

R08.06.01

編集・発行

岡崎市 A V L

編集協力

現職研修委員会

学習情報部

便利さの裏側にある脆さ

大樹寺小学校 校長 川本 祐二

先日、第一生命主催の「サラッと一句！わたしの川柳コンクール2025」（サラ川）の結果が発表されました。第一位は、次の句でした。

キャッシュレス 充電無くなり 無一文

実際に経験されたことのある方のおみえではないでしょうか。川柳自体は、フツと笑みがこぼれてしまう秀逸な作品ですが、自身が現実にある場面に遭遇すると、笑えない状況かもしれせん。そこに、デジタルの便利さの裏側にある脆さが見え隠れしているような気がします。学校教育においても、同様の脆さを感じる側面があります。

一人一台タブレット端末が整備され、「文房具」として利用を開始して六年目。私たちは、即時性、汎用性、可変性などの多くのメリットを享受しながら活用を進めてきました。その中には、デジタルでなければできないことがあります。例えば、即時性の面では、スクールタクトでは瞬時に互いの学習成果を閲覧することが出来ます。この点は紙のノートでは絶対に実現できないことです。

これ知ってる！？情報 I

プロンプト

相手の行動や思考を促すための「指示・問いかけ・きっかけ」のこと。生成AI用語としては、AIから望む反応を引き出すための指示や問い。

また、教員側の視点に立つと、教材の配付と集約が瞬時に行えることも大きなメリットです。

一方で、デジタルの脆さ（デメリット）に目を向けてみます。充電切れになったら使えない、という単純なことだけではなく、「学んだ気になっているだけではないか」「学びの成果が最終的に本人に還元されているか」といった本質的な問いに向き合う必要があります。例えば、ネット上の情報をそのままコピーして、自身の成果であると錯覚していたり、クラウド上にある学習成果が最終的に本人の手元に残らなかったりすることは、その一例です。その点、むしろノートと鉛筆を使ってアナログ的に学んだ方が、自分の力で成果を得、それが手元に残ることによって、深い学びに至る可能性があります。よって、ICTの活用は、学習者の立場から、デジタル・アナログ双方のメリットを最大化するという視点が大切です。

冒頭的话题に戻ると、実は私は完全に「現金派」です。「もつとスマートに支払いたいな」と思いつつ、キャッシュレスにすると無駄遣いやブラックボックス化につながってしまうという考えのもと、財布の小銭をジャラジャラと探しています。

Ⅱ視聴覚教育あれこれⅡ

令和八年度 学習情報部方針

研究主題

Society5.0を

伸びやかに生きる子供の育成
学びの向上に寄与する教育DXを目指して

研究の重点

①「ICTの特長を生かした各教科・領域の授業実践」

・ICTの特長を生かした授業実践事例の収集と共有

・「岡崎版情報活用能力レベルマップ」を生かした授業実践

②「教育DXにおける教師力向上のための研修」

・電子黒板を含む、ICT全般を活用した授業づくりの研修

③「ICTの特長を生かした各教科・領域の実践と検証、情報手段の適切な活用に関する広報」

・生成AIの利用に関する事例集を活用した業務の推進

・月報「視聴覚教育」での広報
・情報モラル教材の集約と啓発

各部会の主な活動

〔広報部会〕

・月報「視聴覚教育」など視聴覚ライブラリー発行物の編集協力

〔実践部会〕

・ICTの特長を生かした授業実践の収集・共有

・視聴覚ライブラリーの教材・機材の効果的な活用方法の研究

〔研修部会〕

・教師や子供の情報活用指導力向上に向けた研修の計画・実施

・教育活動や校務における有効なICT利活用方法の研究と提案

Ⅱ令和八年度 学習情報部組織Ⅱ

部長

川本 祐二（大樹寺小）
内田 雅之（広幡小）
村田 貴志（夏山小）

教育委員会 担当主事

杉坂 和俊（GIGAスクール戦略係長）
河合 泰宏（視聴覚ライブラリー所長補佐）

指導員

太田 尚志（竜海中） 鈴木 広樹（上地小）

世話係

岩川 皓司（竜南中） 島田 豪（広幡小）

各部会世話係

〔広報部会〕

忠内 亮太（岡崎小） 長尾 有真（男川小）
長瀬 太一（大樹寺小） 米澤 和志（大門小）
杉浦 考昭（葵 中） 上嶋 千曉（新香山中）

〔実践部会〕

島田 豪（広幡小） 神島 将（秦梨小）

〔研修部会〕

岩川 皓司（竜南中） 杉山 康子（常磐小）
山口 隆寛（南 中） 蜂須賀一輝（竜海中）

※各校学習情報主任の先生方がそれぞれの部会に所属し、活動を進めています。

各種大会

・研究会の案内

《研究会》

- ・おかざきツズ プログラミング・フェスタ2026
8月5日（水）総合学習センター
- ・三教研ICT活用研究会
8月7日（金）安城市教育センター
- ・県放送教育特別研究会
8月20日（木）オンライン開催

《研修会》

- ・授業力・教師力アップセミナー

【基礎編】 7月22日（水）

【応用編】 7月24日（金）

- ・学習情報部自主研修会「TAV」（随時）

《研究論文》

- ・ちゅうでん教育振興助成（6月12日（金） 締切）
- ・パナソニック教育財団実践研究助成
（例年1月中旬締切）

※県や市の教育論文をはじめ多くの機会があります。日頃の実践成果をまとめてみましょう。

《コンクール》

- ・ふるさと岡崎メディアコンクール
- ・ICT夢コンテスト など

《児童・生徒のコンクール》

- ・ふるさと岡崎メディアコンクール
- ・NHK杯全国中学校放送コンテスト愛知県大会
- ・パナソニックKWN日本コンテスト など

ライブラリーだよ

所長

柴田 英代

所長補佐

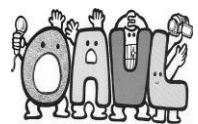
河合 泰宏

職員

青木 佑介

山本 やよい

青野 寛子
白木 千春



連絡先 岡崎市
視聴覚ライブラリー
23-6789

引き続き同じ体制で運営してまいります。
本日よりでは、視聴覚・情報教育に関する主な支援内容を紹介します。

●情報モラル出前講座

視聴覚ライブラリーは児童生徒、保護者対象の「情報モラル出前講座」を随時行っています。内容はSNSやスマホ利用に関する情報提供や注意喚起などです。実施を希望する時は右記載の連絡先にお問い合わせください。

●教材・機材の貸出

視聴覚ライブラリーは貸出用教材・機材（デジタルコンテンツ含む）を保有しています。貸出用教材・機材の一覧は、各校にある教材目録か視聴覚ライブラリーHPでご確認ください。貸出予約は、HPから営業時間外でも予約可能ですので、便利なネットの予約をぜひご利用ください。

●営業時間

平日の午前9時から午後5時まで
ただし、毎週木曜は午後7時まで
土日祝及び年末年始は休業となります。
☆木曜の夜間窓口をぜひご利用ください。